



平成 23 年度、教団独立記念祭が 6 月 12 日教主金光様ご祭主のもと美しく
 仕えられました。本教は 1900 年（明治 33 年）、金光教団として独立し、独
 自の布教活動ができるようになりました。こうした教団独立に生命をかけ
 られた先人の志を受け継ぎ、教団活動の展開を神様に祈願する祭典です。



ご挨拶をされる、教主 金光平輝様

教団独立記念祭に引き続き、教主就任式
 が執り行われました。

教主金光様は、四代金光様ご帰幽のみ跡を
 お受けくださり、平成 3 年 3 月 27 日に教
 主にご就任になって以来、二十年間、本教
 を統理くださり、教祖様はじめ歴代金光様
 が具現された生神金光大神取次の業を、日々
 お進め下さっています。



東日本大震災 百日慰霊祭 2011 6.19



3月11日に発生した東日本大震災の100日慰霊祭が執り行われました。死者行方不明者合わせて2万人以上となった未曾有の震災の犠牲者の冥福と復興を祈願しました。



東日本大震災復興支援活動



第3次派遣団報告

5月23日～6月1日

第4次派遣団報告

5月30日～6月8日

本教で、様々な復興支援がなされており、中でも青少年少女連合本部は、石巻を拠点に5月9日から本格的にボランティアの体制を整え（岡山から現地までの定期便を運行。約10日毎の交替体制）頑張ってくれています。

【連合本部からの報告】

■第三次派遣団報告

五月二十四日午前、第一、二派遣団のご苦勞のおかげで、第三次派遣団は新たな支援団宿营地となった石巻教会に隣接する旧山内産婦人科の建物に入ることができ、調いつつある環境の下で支援活動に取り組むことができた。

石巻教会広前は全面新しいフローリングに模様替えがなされ、御用の場が整えられて有り難く感激の中に奉仕者一同参拝。お取次を頂いて第二次奉仕者と共に活動を開始し併せて事務引き継ぎを行い、明日からの活動計画を練る。

二十五日、朝から全員で住吉町一丁目と二丁目を歩いて回り、地域の実情を見聞すると共に、住民の方々に直接奉仕活動依頼のチラシを配布。

直ぐさまその場で依頼を受けるような状況で、支援団事務所に戻り、依頼された方の名前、住所、連絡先、依頼内容等をホワイトボードに書き出す。その間も次々に依頼の電話が入り、この状況は毎日続いた。

依頼内容は、水没した家財道具や瓦礫の撤去、使用可能な家具の移動、傾いた倉庫の立て直しやブロック塀



の撤去等様々だが、依頼の八割は床下や敷地内、池、側溝等に溜まったヘドロの除去であった。

団員は朝礼後の八時半から夕方六時まで、連日重機班と手作業班に分かれ、依頼された民家へ出向き、与えられた時間いっぱい積極的に取り組んだ。

また、日田教会から参加の河津氏父子と田辺氏が、井上教会長家族が葬儀のため留守の五日間、夕食後の時間を使って自主的に毎夜広前御神前の壁塗りに取り組む姿には感動させられた。期間中頃、台風2号から変わった低気圧の影響で風雨烈しく、暴風と旧北上川の増水で道路まで水が溢れる状況のため外での作業を見合わせ、宿营地の電気、ガス、水道を担当する泉南教会の明渡師と狩谷氏の作業の補助や施設営繕を行った。

土曜日を休息にあて、それぞれ心身を休めたり日和山参拝や物資配給の準備を行った。日曜日の午前と午後の二回、雨天のため支援団事務所内で支援物資の配給を実施。合わせて二〇〇人以上の地域の方が集まり、盛況であった。しかし地域への周知が行き渡っていないなどの注意を受け、今後の配布について貴重な意見を賜った。

今回、三名の中・高生兄弟が父親と共に参加。この貴重な体験を教会や学校の場で活かし、いっそうのお育てを願っている。

(報告・安武隆雄)

■第四次派遣団報告

五月三十日、勢力の強かった大風二号が熱帯低気圧へと変わり、比較的穏やかかと思われる雨模様の中、車を走らせ、東北の地へ向かった。



翌三十一日、朝六時到着、朝食後、第三回支援団と合同で朝礼。その後、事務の引き継ぎと、その日依頼のあった民家の前の側溝のドロ出しを一日かけて行った。

六月に入り、まだまだ東北の地は肌寒さを覚える季節であるが、日中は気持ちのよい穏やかな気温で、作業が進んだ。この日は、石巻教会信奉者宅の床下のドロ出し、セメント入れを行った。

二日、依頼のあったアパートの床板はがしとドロ出し作業を行った。

三日、支援団生活も後半に入り、団員にも疲れの色が出はじめた。この日は依頼のあった民家の畑を、草刈りを兼ねたド



ロ出し作業を行う。またこの日、泉南教会在籍の狩谷団員により、ドラム缶風呂の設置作業と電気配線の改善に当たって頂き、ドラム缶風呂に入浴した団員達は作業疲れが取れ、明日から、より一層作業に力が入ることになった。

四日、全国信徒会より二名が訪問、午後から一緒に支援団の宿営地を間借りしている旧山内産婦人科隣の母屋のドロ出し作業を行った。

五日、朝から仙台教会より二名の奉仕者が加わり、近くの民家の駐車場と畑のドロ出し作業を行った。

六日、午前中を休息とし、団員は被害の大きかった女川への視察、午後からはトラックやユニボ等の車両の洗車を行った。最終日の七日、愛媛県中予教会連合会並びに山口県有志の追加団員六名に加え、第五回支援団の到着により二十名近くの奉仕者となり、近くのアパートの泥出し作業を手早く行い、期間中、依頼のあった作業を第五回支援団へと引き継いだ。

(報告・柏原祐二郎)

この奉仕活動の様態や詳細、ボランティア受け入れ要領等は、インターネットから見ることが出来ます。扇町教会のトップページにリンクしております。